

ネオニコチノイド系農薬を使わない病虫害防除を探るフォーラム(全3回) 第2回ワークショップ「稲作育苗箱への浸透性農薬施用について」

参加ご案内

EUでは2013年12月から、3種のネオニコチノイド系農薬(クロチアニジン、イミダクロプリド、チアメトキサム)について [2年間の暫定禁止措置](#)をスタートさせ、同じ浸透性作用を持つフィプロニルについても[特定農作物への使用を暫定禁止](#)します。

これら4種の殺虫剤をはじめとするネオニコチノイド系(浸透性)農薬は、農作物の受粉に重要な役割を果たすハチなどへの影響が懸念され、虫媒作物の減収につながる可能性も危ぶまれています。人体への影響は現在のところ確証には至っていませんが、ミツバチへの被害がメディアで報じられるようになり、「ネオニコチノイド系農薬を使わない農作物や加工品を選びたい」という消費者の声は今後、日本でも広がっていくでしょう。

自然と人間社会の共生をめざす独立した民間基金である一般社団法人アクト・ビヨンド・トラストは、2011年度より浸透性農薬問題の社会的認知と解決を促すため、市民団体や研究者への助成を進めてきました。一方で、ネオニコチノイド系農薬は有機リン系農薬に代わる殺虫剤として国内外で急速にシェアを伸ばしてきた現状があり、「ネオニコチノイド系農薬を使わずに作物防除ができるのか?」という生産現場の切実な声にも耳を傾けなければなりません。

そこで、栽培や防除の専門家、生産者、消費者、流通関係者が互いの経験や知識を携えて集い、生産現場で実際に役立つ浸透性農薬の代替技術・農法をともに探る機会を企画しました。開催にあたり、生産者と消費者をつなぐ立場にある主要な流通組織にも積極的関与を呼びかけています。先進的な実践例に関する情報交換の場として、ぜひご参加ください。

第2回ワークショップ: 1月26日(日) 14:00~16:30 稲作育苗箱への浸透性農薬施用について

- ・ **発題者:** 稲葉光國(NPO 法人民間稲作研究所理事長)
戒谷徹也(大地を守る会)
小野寺喜作(庄内協同ファーム代表)
丸山 訓(有機栽培あゆみの会・アグリクリエイト)
- ・ **会場:** 小山台教育会館 205 会議室
〒142-0062 東京都品川区小山 4-11-12
東急目黒線 武蔵小山駅西口より徒歩3分
<http://www.koyamadai50.jp/access/>
- ・ **参加費:** 無料
- ・ **主催:** 一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト
- ・ **協賛:** 大地を守る会、らでいっしゅぼーや、生活クラブ連合会(他団体にも呼びかけ中)

第2回は、稲作の育苗箱に広くネオニコチノイド系農薬が使われている現状について、生産と流通の現場からの問題提起を受け、参加者も含めたワークショップ形式で解決への道筋を探ります。

稲葉光國(いなば・みつくに)

1944 年生まれ、NPO 法人民間稲作研究所理事長。成苗育苗技術・循環型肥培管理技術・太茎・大穂による安定多収技術・水田生物の多様性を活かした抑草技術を提案。著書に、『あなたにもできる無農薬・有機のイネづくり』(農文協 2007)他。

戒谷 徹也(えびすだに・てつや)

1955 年生まれ。(株)大地を守る会 生産部部長兼放射能対策特命担当。2008 年農水省「有機 JAS 規格の格付方法に関する検討会」委員。2012 年農水省「地域食文化活用マニュアル検討会」委員。2013 年度より一般財団法人生物科学安全研究所評議員。

小野寺喜作(おのでら・きさく)

1955 年生まれ。庄内協同ファーム代表。1981 年より産直活動に取り組み、1989 年に農事組合法人庄内協同ファームを発足。1994 年に鴨除草農法を開始、2000 年に有機 JAS 認証取得、2007 年 3 月より栽培を全面積有機化。山形県鶴岡市で水田 2.6ha 他枝豆などを栽培。

丸山 訓(まるやま・さとる)

1968 年生まれ。有機栽培あゆみの会取締役・総務部流通管理室長。1994 年に同社入社。千葉県・茨城県を中心とする生産者 100 人以上の生産者団体として、土壌分析と微生物・酵素を生かした土づくり、施肥設計指導などによる有機栽培技術の勉強会を行っている。

第 2 回フォーラムご参加申し込みについて(参加無料)

grant@actbeyondtrust.org まで、メールで、以下の内容をご記入のうえ、1 月 24 日までにお申し込みください。全 3 回のフォーラムですが、1 回のみのご参加も可能です。会場や登壇者決定など詳細情報の速報を受け取りたい方も、その旨ご記入のうえご連絡ください。

1. お名前
2. ご住所(もしくは所属団体名称とご住所)
3. メールアドレス

【予告】第 3 回シンポジウム: 2014 年 2 月 15 日(土)午後

会場: 地球環境パートナーシッププラザ(東京メトロ銀座線ほか表参道駅徒歩 5 分)

“楽農”への道——ネオニコチノイド系農薬に頼らない持続可能な農の未来(仮題)

【お問い合わせ】

一般社団法人アクト・ビヨンド・トラスト

<http://www.actbeyondtrust.org/>

リサーチアシスタント 八木晴花

電話: 070-6551-9266(10:00~19:00) Email: grant@actbeyondtrust.org



一般社団法人アクト・ビヨンド・トラストは、自然環境と人間生活の調和を目的とした市民や NPO・NGO の活動を支援する、独立した民間基金です。問題解決のための具体的・効果的・創造的なアクションを重視し、資金援助、コンサルティング、技術および人材提供、トレーニングなどを行なっています。詳しくはホームページ <http://www.actbeyondtrust.org/> をご覧ください。